

＝プログラム＝

- 9 : 00～ 受付開始 【教育研究棟1階 東側ロビー】
- 9 : 20～9 : 25 オープニングアクト 【中講義室4】
- 9 : 30～10 : 30 会長講演 【中講義室4】
その人らしい生活を支える看護とはどのようなものか？
学術集会長：葛島 慎吾（宮崎県立看護大学）
座長：吹上 大祐（宮崎県立宮崎病院）
- 10 : 40～12 : 00 教育講演 【中講義室4】
その人らしい生活を支える看護～パーソナルリカバリーへの着目を通して～
演者：光永 憲香（東北福祉大学）
座長：葛島 慎吾（宮崎県立看護大学）
- ～昼食～ 【中講義室3】
- 13 : 00～14 : 00 ポスター発表
- 1群 座長：吹上 大祐（宮崎県立宮崎病院） 【臨床看護実習室3-3】
1) 看取り期とされた高齢透析患者が自宅退院に至るまでの看護介入
～療養病棟での1か月の実践を通して～
発表者：野地 めぐみ, 脇坂 幸江（医療法人社団絃和会 平和台病院）
2) メンタルヘルスケアを必要とする妊産婦への看護実践
発表者：佐藤 由佳子, 吹上 大祐（宮崎県立宮崎病院）
3) 妊娠期から産後2週間健診までの母乳育児に対する思いの変化
発表者：中武 文乃（宮崎県立日南病院）
4) 精神科における看護師の頓用薬と薬判断に関する文献レビュー
発表者：田平 慧吾（医療法人一誠会 都城新生病院）
- 2群 座長：勝野 絵梨奈（宮崎県立看護大学） 【家庭看護・人間関係実習室】
1) 「ネズミ捕りのららばいさん」が築いた信頼関係
～独居認知症高齢者の「困りごと」に寄り添った訪問看護の実践～
発表者：川田 悠貴（訪問看護ステーション ららばい）
2) 住み慣れた自宅で生活を支える支援の実際
～認知症独居生活の支援について～
発表者：立山 裕也（居宅介護支援事業所 ほのか）
3) “本人の意思を尊重する”とは
～終末期がん当事者と支援者が必要と考える事柄の乖離からの示唆～
発表者：四井 信秀（ココロとカラダのリハビリステーション ほのか）
4) 65歳以上の高齢者の結核検診受診及び精密検査受診に繋げるための取組の検討
発表者：芋高 ゆきな（串間市役所）
5) 高鍋保健所管内4市町の学齢期におけるフッ化物洗口の推進
～学校現場の変化に合わせた取組～
発表者：宮崎 茉央（宮崎県高鍋保健所），吉岡 泰代（宮崎県高千穂保健所），
森木 大輔（宮崎県健康増進課）

14 : 15～15 : 15 交流集会

交流集会 1

【小講義室1】

精神障害者のその人らしい地域生活を支える訪問看護とはどのようなものか？

話題提供者：相星 裕真（訪問看護ステーションcalm 小松）

ファシリテーター：矢野 秀蔵（医療法人清芳会 井上病院）

交流集会 2

【小講義室2】

これからの地域医療と看護の未来について語り合いませんか？

～宮崎県立看護大学卒業生4人が見据える地域医療と看護のこれから～

話題提供者：川田 悠貴（訪問看護ステーション ららばい）

ファシリテーター：甲斐 鈴恵（宮崎県立看護大学）

交流集会 3

【小講義室3】

メンタルヘルスケアを必要とする妊産婦への支援について語ろう

～病院・外来・地域、みんなで支えるためには～

話題提供者：佐藤 由佳子（宮崎県立宮崎病院）

ファシリテーター：吹上 大祐（宮崎県立宮崎病院）

交流集会 4

【小講義室4】

宮崎県立看護大学看護学研究会のこれまでとこれから [理事会企画]

ファシリテーター：毛利 聖子（宮崎県立看護大学）

15 : 45～16 : 45 シンポジウム

【中講義室4】

語り合おう！その人らしい生活を支える看護

座長：坂井 謙次（宮崎県立看護大学）

シンポジスト：森 俊之（宮崎市郡医師会病院）

ICUにおけるその人らしい生活を支える看護

～せん妄発症予防支援において

患者の持てる力を見出すことの必要性～

大村 真由（医療法人同仁会 谷口病院）

「その人らしさ」を大切にしながら「生活を支える」看護実践とは

～精神疾患患者への食事援助を通して考える～

宮 ゆうこ（宮崎県立看護大学）

がん終末期高齢者の“その人らしさ”を捉える訪問看護師の着目点

～訪問看護師へのインタビュー調査から～

16 : 45～

閉会

【中講義室4】